

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成 27 年 11 月 27 日

計画の名称	1 今治市中心市街地地区都市再生整備計画			
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	今治市	
計画の目標				

今治市の中心地域としての役割・価値・魅力を高め、「ひと」と「まち」とのつながりを増やし、誰もが今治を実感できるまちへと再生する

計画の成果目標（定量的指標）

- ・市内外からの転入・転居人数を457人（H22）から510人（H28）に増加
- ・中心市街地を回遊する歩行者及び自転車の通行量を2,675人（H22）から3,300人（H28）に増加
- ・市民の中心市街地への満足度を12.6%（H22）から17.6%（H28）に増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H28末)	
市内外からの転入・転居人数 住民基本台帳に基づく統計値による、中心市街地への1年間転入・転居人数	457人/年	—	510人/年	
中心市街地を回遊する歩行者及び自転車の通行量 中心市街地定点における歩行者及び自転車通行量	2,675人	—	3,300人	
市民の中心市街地への満足度 アンケート調査による中心市街地の都市施設、機能に対する市民の満足度	12.6%	—	17.6%	

拠点施設・重点地区

【拠点施設】今治駅、今治港

全体事業費	合計 (A+B+C)	995.0百万円	A	995.0百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---------------------------	----

交付対象事業

A1 基幹事業													全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
										H24	H25	H26			H27	H28
	市街地	一般	今治市	直接	—	—	都市再生	今治市中心市街地地区都市再生整備計画事業	今治市						995.0	
										小計					995.0	
										合計					995.0	

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）						
										H24	H25	H26			H27	H28
					—											
										合計						

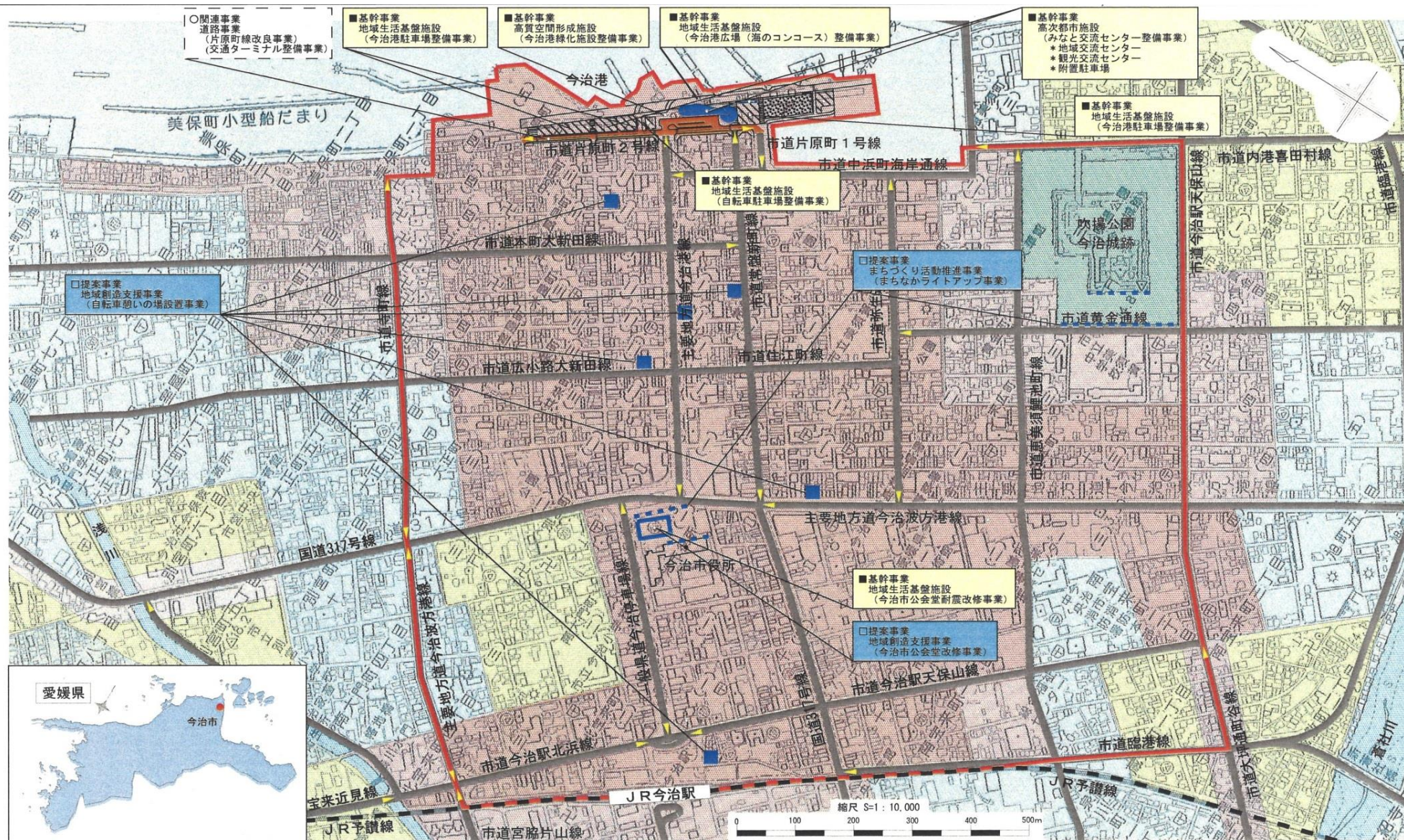
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）						
										H24	H25	H26			H27	H28
					—	—										
										合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 今治市中心市街地地区都市再生整備計画	交付対象	愛媛県今治市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)		



都市再生整備計画(第3回変更)

いまばりしちゆうしんしがいちちく
今治市中心市街地地区

えひめけん いまばりし
愛媛県 今治市

平成27年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	えひめけん 愛媛県	市町村名	いまばりし 今治市	地区名	いまばりし、ちゆうしんがいち、ちく 今治市中心市街地地区	面積	約157 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標	
大目標	今治市の中心地域としての役割・価値・魅力を高め、「ひと」と「まち」とのつながりを増やし、誰もが今治を実感できるまちへと再生する
目標1	まちなか空間創出による「にぎわいづくり」
目標2	自転車による「持続可能なまちなか進化」
目標3	まちなかデザイン創出による「今治らしさの具現化」

目標設定の根拠	
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>現在の今治市は、平成17年に旧今治市および越智郡11町村の新設合併により、新たに「今治市」として発足した。中心市街地は今治城の城下町を基礎に、今治港を擁する港町として発展し、合併以前から行政、商業、医療などの都市機能が集積している今治都市圏の都市核として機能している。しかし他地域と同様に本市の中心市街地においても、商業機能の低下や人口減少の進行、少子高齢化によりまちの賑わいが著しく低下しており、今後も更に人口減少が進行し、都市核としての機能が低下することも予想される。</p> <p>このような状況の中、平成21年12月に旧今治市を中心地域に越智郡旧11町村を周辺地域として、一圏域を形成する今治市定住自立圏構想に取り組む意思表示「中心市宣言」を行った。集約とネットワークの考えに基づき、各地域が役割分担し、互いの連携・協力により、圏域住民が誇りを持って自立・共生でき、圏域外からの人口流入を創出できる魅力にあふれた今治市定住自立圏形成を目指している。これらの背景により、都市の持続的な発展を実現していくためには、多くの都市機能が集積している中心市街地が、定住自立圏の中心地域を形成する上で拠点として再生していくことが求められている。</p> <p>平成19年度から中心市街地の現状を把握するための基礎調査等を行い、平成22年3月には基礎調査等の結果を踏まえて、中心市街地再生の基本理念・基本方針・目標を定め、「中心市街地再生基本構想」を策定した。そして昨年度、この「中心市街地再生基本構想」を具体的に推進していくために、官民協働により事業計画や推進体制等を総合的に検討し、「中心市街地再生基本計画」を策定した。</p>	
課題	
<p>①居住人口の低下による、まち全体の活力の低下を改善するため、中心市街地の恵まれた既存ストックを活用し、まちなかで暮らす居住環境を整えていくことで、「居住人口の回復」を目指していくことが必要である。また今治市圏域における拠点地域として、生活支援サービス機能等を導入することにより、市全体の定住人口回帰を促すことが求められている。</p> <p>②中心市街地への来訪の機会や滞在時間を増やすため、まちのストックを活用した「にぎわい・交流空間」の整備や、まちなかでの賑わいイベント、まちづくり活動の実施による「楽しめるまちの創出」が必要となる。</p> <p>③市民活動拠点機能等を中心市街地に導入することにより、市民が日常的に中心市街地を利用する機会を増やすことができる、「交流の場の創出」が必要となる。</p> <p>④中心市街地において、サイクリストを中心とした観光客の誘客・回遊を促進するために、観光交流拠点機能の整備が必要となる。</p>	
将来ビジョン(中長期)	
<p>今治市の個性は、「海と一体となったまち」であり、今治市総合計画においても、海のまちとして、多様な交流が交り合いお互いが響き合う「海響都市いまばり」を将来像として掲げている。このような個性を持つ今治市の顔である中心市街地は、圏域の活力をけん引する地域として、にぎわいを取り戻し、まちの魅力を高めるために、活力のあるまちへと再生していく必要がある。中心市街地の再生にあたっては、海事都市今治の海の玄関である今治港の再生を軸とし、このまちに「住む・来る・活きる」ことが魅力となり、今治らしさを誰もが実感できることが必要であると考えられる。そのためには今治市圏域の中心地域としての役割・価値・魅力を高め、「ひと」と「まち」とのつながりを増やし、この「まち」が今治の中心であると誰もが感じ、誇りと愛着を持てるまちへと再生していくことを基本理念とします。この基本理念を現すテーマとして「今治を実感できるまち」を掲げ、「人が住む・来る・活きる魅力的なまちづくり」を目指す。</p>	

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
市内外からの転入・転居人数	人/年	住民基本台帳に基づく統計値による、中心市街地への1年間転入・転居人数	新たに中心市街地に居住する機会を増加していき、市内外から中心市街地への転入や転居による人口増加を目標とする。	457人/年	22年度	510人/年	28年度
中心市街地を回遊する歩行者及び自転車の通行量	人	中心市街地定点における歩行者及び自転車通行量	まちを訪れる機会、利用する機会を増やしていくことにより、通行量を向上させていくことを目標とする。	2,675人	22年度	3,300人	28年度
市民の中心市街地への満足度	%	中心市街地の都市施設、機能に対する市民の満足度	市民生活に必要な機能を充実させるとともに、中心市街地の利用を促進していくことにより、アンケート調査各項目回答の「満足」「やや満足」を含むの平均回答率を増加させることを目標とする。	12.6%	22年度	17.6%	28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・まちなか空間創出による「にぎわいづくり」 中心市街地にある「港」「広小路」「商店街」などの空間を、人が集まり、遊び、楽しむ空間へと整備し、その空間を活用するイベント等を実施することにより、まちなかに「にぎわいやコミュニティ」をうみだしていく。 (1)今治港を活用した交流・にぎわい創出 (2)広小路道路空間、商店街等の空間を活用したにぎわい創出 (3)まちなかの回遊性を高める環境整備</p>	<p>○今治港駐車場整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設) ○自転車駐車場整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設) ○今治港広場(海のコンコース)整備事業(基幹事業/地域生活基盤施設) ○今治市公会堂耐震改修事業(基幹事業/地域生活基盤施設) ○今治港緑化施設整備事業(基幹事業/高質空間形成施設) ○みなと交流センター整備事業(基幹事業/高次都市施設/地域交流センター、観光交流センター、附置駐車場) ○今治市公会堂改修事業(提案事業/地域創造支援事業) ○片原町線改良事業(関連事業/道路)</p>
<p>・自転車による「持続可能なまちなか進化」 まちなかでの自転車の利用環境を高め、市民の自転車利用を誘導し、まちなかの「回遊性」「移動性」を高めていくとともに、しまなみ海道において展開されている「サイクルネットワーク」を中心市街地へとつなげることにより、自転車を使った旅行者をまちなかに誘客する。 (1)まちなかサイクリングの推進 (2)自転車専用レーンの設置検討 (3)サイクルステーションの設置</p>	<p>○自転車憩いの場設置事業(提案事業/地域創造支援事業)</p>
<p>・まちなかデザイン創出による「今治らしさの具現化」 「港町」「城下町」「造船」「タオル」といった今治固有の都市デザインや産業デザインの要素を活かしながら、まちなかのデザインを創出することにより、まちなかに「今治らしさ」を具現化していく。</p>	<p>○まちなかライトアップ事業(提案事業/まちづくり活動推進事業)</p>
<p>その他</p> <p>○みなと再生事業の展開 「交通」の港から「交流」の港へを基本コンセプトに、海事都市今治のシンボルとなる海とまちをつなぎ、賑わいや憩いや交流が生まれる『市民広場』を実現する。みなと再生事業基本計画により、施設整備と併せて賑わい創出イベントや交流事業を実施する。</p> <p>○まちなか居住促進による「まちなか人口の回復」 安心安全で歩いて暮らせる生活基盤がコンパクトに集積している中心市街地の特徴を活かし、新たな居住や継続した居住を促すための支援を行うことにより、まちなかに暮らす定住人口を回復していく。 (1)まちなか居住支援制度の拡充 まちなか居住を促進する施策として、現在実施中の共同住宅建設を対象にした「まちなか住宅建設補助事業」を継続実施するとともに、新たな施策展開を実施することにより、まちなか居住を促進する。 (2)まちなか居住支援センター まちなか居住に関する情報発信や住み替え相談等をワンストップ型で対応する「まちなか居住支援センター」を設置し、まちなか居住を検討する層への支援を実施する。</p> <p>○まちなか機能強化による「まちなかの価値向上」 中心市街地に集積する公共公益施設のあり方を見直し、まちの安全性、公共公益サービスといった、まちなかに備わる機能を強化することにより、市民が感じる「まちなかの価値」を向上させていく。 (1)公共施設の再編・利活用 中心市街地に立地する公共施設について、利用状況や施設の老朽化などの施設現状、中心市街地に求められる機能、利用者ニーズなどから、効率的な施設再配置のあり方を検討するとともに、新たな機能導入の可能性についても検討し、再編・利活用を検討する。 (2)まちなかストック活用 大規模店舗跡、空き店舗、事務所など、中心市街地に立地する民間の既存ストックについて、賑わいや活力を創出する都市機能の導入を促進するために、新たな活用を促す施策の展開を図る。 (3)まちなか情報マップの作成 まちなかを利用する市民や来訪者などが、便利に安心して利用できるように、まちなかの様々な情報を掲載するマップやリーフレットなどを作成する。 (4)中心市街地再生に向けた組織強化 中心市街地再生の実現に向け、事業推進の取り組みが相互に効果を出し合えるよう、総合的なマネジメント組織として、市民や既存の組織などが連携する官民協働の推進体制を構築する。</p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	995.0	交付限度額	335.2	国費率	0.337
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
道路														
道路														
道路(地方都市リノベーション事業)														
公園														
公園(地方都市リノベーション事業)														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	今治港駐車場整備	—	今治市	直	3,994㎡	平成26年度	平成28年度	平成26年度	平成28年度	13.9	13.9			13.9
	自転車駐車場整備	—	今治市	直	291㎡	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	36.9	36.9			36.9
	今治港広場(海のコンコース)整備	—	今治市	直	2,858㎡	平成28年度	平成28年度	平成28年度	平成28年度	50.0	50.0			50.0
	今治市公会堂耐震改修事業	別宮町1丁目	今治市	直	2,268㎡	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	52.9	52.9			52.9
	今治港緑化施設整備	—	今治市	直	1,877㎡	平成26年度	平成28年度	平成26年度	平成28年度	59.3	59.3			59.3
高次都市施設	地域交流センター	セミナールーム、会議室等	今治市	直	613㎡	平成25年度	平成27年度	平成25年度	平成27年度	276.6	276.6			276.6
	観光交流センター	観光情報センター等	今治市	直	249㎡	平成25年度	平成27年度	平成25年度	平成27年度	112.3	112.3			112.3
	附置駐車場	—	今治市	直	180㎡	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	1.5	1.5			1.5
地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設														
既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										603.4	603.4	0.0	0.0	603.4

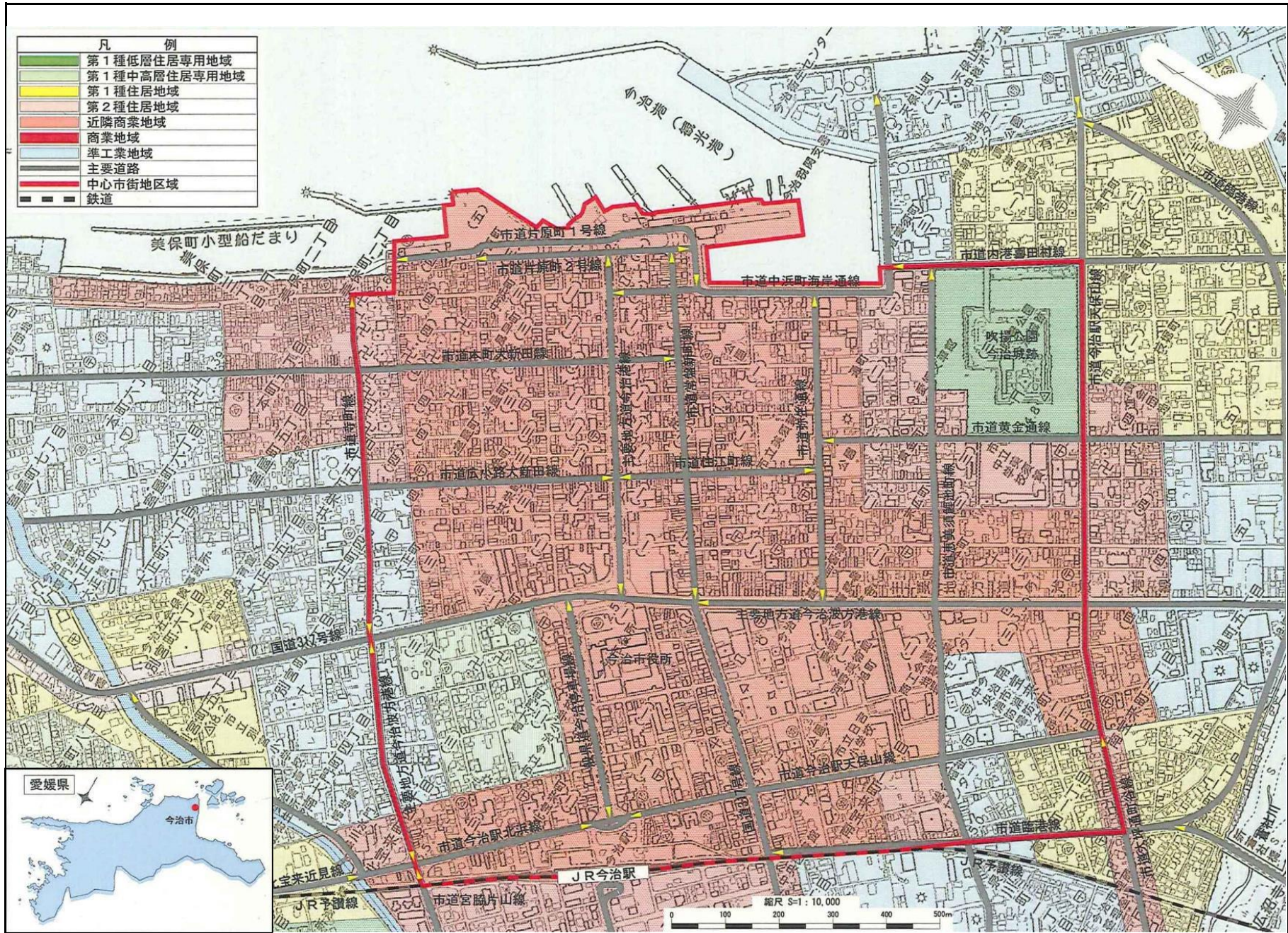
提案事業(継続地区の場合のみ記載)														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	自転車憩いの場設置事業	—	中心市街地再生協議会	間		平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度	1.8	1.8			1.8
	今治市公会堂改修事業	別宮町1丁目	今治市	直		平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	385.1	385.1			385.1
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業	まちなかライトアップ事業	—	中心市街地再生協議会	間	—	平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度	4.7	4.7			4.7
合計										391.6	391.6	0.0	0.0	391.6

(参考)関連事業														
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費			
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度				
道路事業	片原町線	今治市	国土交通省	L=425m		○				平成24年度	平成29年度	182.8		
道路事業(交通ターミナル整備)	片原町線	今治市	国土交通省	1箇所		○				平成27年度	平成27年度	30.8		
合計												213.6		

合計(A+B) 995.0

都市再生整備計画の区域

今治市中心市街地地区(愛媛県今治市)	面積	157 ha	区域	今治市中心市街地
--------------------	----	--------	----	----------



今治市中心市街地地区(愛媛県今治市) 整備方針概要図

目標	今治市の中心地域としての役割・価値・魅力を高め、「ひと」と「まち」とのつながりを増やし、誰もが今治を実感できるまちへと再生する。	代表的な指標	市内外からの転入・転居人数(人/年)	457	(22年度)	→	510	(28年度)
			中心市街地を回遊する歩行者及び自転車の通行量(人)	2,675	(22年度)	→	3,300	(28年度)
			市民の中心市街地への満足度(%)	12.6	(22年度)	→	17.6	(28年度)

